

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）事後評価書

計画の名称	4-7.工業団地へのアクセスの強化と産業振興の促進を図る道路整備										重点配分対象の該当	○							
計画の期間	平成29年度～平成30年度（2年間）				交付団体	可見市													
計画の目標	市道56号線を整備することで、二野工業団地周辺から東海環状自動車道「可見御嵩IC」または国道248号「今IC」へのアクセス強化、産業の発展を図る。																		
計画の成果目標（アウトカム指標）	1. 二野工業団地から東海環状自動車道可見御嵩ICまでのアクセス時間の短縮（13分→8分 5分短縮） 2. 二野工業団地から国道248号BP今ICまでのアクセス時間の短縮（13分→8分 5分短縮）																		
アウトカム指標の定義及び算定式	アウトカム指標の現況値及び目標値 当初現況値（H29当初） 中間目標値 最終目標値（H30末） 備考 1. 時間短縮効果 ※時間計測工区は、整備される路線を含む主要施設・主要道路管で走行時間を計測 【（時間短縮）＝（整備前所要時間－評価時点での主要時間）】 0 5分 2. 時間短縮効果 ※時間計測工区は、整備される路線を含む主要施設・主要道路管で走行時間を計測 【（時間短縮）＝（整備前所要時間－評価時点での主要時間）】 0 5分																		
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,100 百万円	A	1,100 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%							
事業概要																			
A 地方道路整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
												H29	H30						
A1-001	道路	一般	可見市	直接	可見市	市町村道	改築	0.55	(1) 56号線	道路整備 L=1.47km	可見市					1,100			
												合計	1,100						
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考	
											H29	H30							
												合計							
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	備考			
											H29	H30							
												合計	0						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考							
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費(百万円)	備考					
									H29	H30									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考							

事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
1. 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	市道56号線道路整備により、二野工業団地と東海環状自動車道可児御嵩IC及び国道248号BP今IC間のアクセス性が向上した。					
2. 定量的指標の達成状況	二野工業団地から東海環状自動車道可児御嵩ICまでのアクセス時間の短縮（13分→8分 5分短縮）	最終目標値	5分	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	5分			
	二野工業団地から国道248号BP今ICまでのアクセス時間の短縮（13分→8分5分短縮）	最終目標値	5分	目標値と実績値に差が出た要因		国道248号BP今ICと本事業区間の間に位置した変則交差点が、計画期間内に解消されたことが目標を上回るアクセス時間の短縮に繋がったと考えられる。
		最終実績値	6分			
3. 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	本事業の完了により、市街地を通ることなく主要な道路にアクセスすることが可能になったため、中心市街地の混雑が解消された。					
特記事項（今後の方針等）						
当該整備計画は、市道56号線単独の整備計画であるため、令和元年10月の全線供用開始をもって終了する。						